

△合同反對闘争と同様な強力なる全従業員の自主的組織で

全従業員的生活権を確保する單一労働組合結成の急務

市會議員選挙の戦塵漸くおさまり従業員の政治的関心と興奮去り新會社成立を目前に控へて製鐵官民合同反對運動に加へられた様々なデマの正体が次第に全従業員の前に曝露されるに至つた。新會社の成立を十月に控へて、全従業員將來の生活問題を眞剣に考へ合同反對運動の威大なる勝利を認識し反對運動に依つて明確に發揚された全従業員の自主的大同團結の強大なる實力を眞面目に評價する者が従業員の中から横出する様になつた。製鐵所の全工場に亘つて、之等の眞剣な従業員を中心にして、全従業員を打つて一丸とする強力なる單一労働組合結成の火の種な要求が澎湃して起つて來てゐる。之等の従業員は悉く反對運動と同様な強力なる一大結束を以て新會社に對し従業員將來の生活問題を最も有効に解決確保得しなればならぬと考へてゐる。之等の事實は

製鐵所従業員の一步前進として誠に喜ばしきことである。

製鐵官民合同反對同盟は既に解消されてゐるが、同盟が法案通過と同時に全従業員大會の決議に依つて代表委員を上京せしめ、中島商相、中井長官その他關係當局に要求した「合同慰勞金の支給」「共済組合の法人化」「三割々増の本給繰入」「解雇退職手当の増額」など八ヶ條に亘る従業員の現實生活問題は新會社に持ち越されたるまゝになつてゐる。全従業員は賑起して一日も早く強力なる新労働組合を結成して労働階級團結の實力を以て全従業員のために最も有利に之等の諸問題を解決して従業員將來の生活諸問題を少しの不安も無残さなげに力のかぎり努めねばならない。中井製鐵所長官も第六十四議會の<sup>本</sup>答辯で「八幡製鐵所の従業員は常職訓練組織にすぐれてゐる」との意味のことを述べてゐる程である日本最大の工場である八幡製鐵所の従業員が北九州の工場地帯で労働階級の自主的な積極的な労働組合を結成して西日本の労働運